



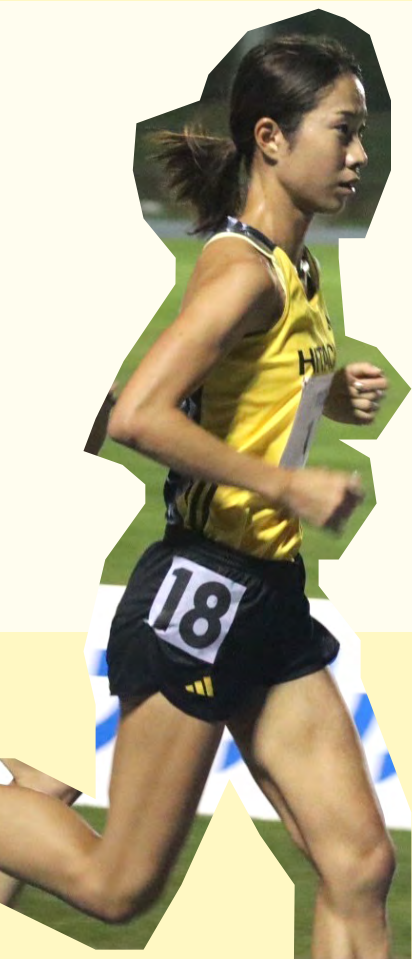
ホクレン・ディスタンス チャレンジ2024

★
深川
大会

粘りの走りでセカンド記録!

北海道内を転戦するホクレン・ディスタンスチャレンジ大会の第4戦、深川大会が開催され鈴木千晴選手が3年ぶりに10000mへチャレンジしました。

例年の深川大会に比べると暑さと湿度があり、他チームの選手もなかなか記録を伸ばせない中、鈴木選手は前半から落ち着いて集団の中でレースを進め、後半きつくなったところで少し遅れはしたものの、そこから粘りの走りを見せてセカンドベスト記録の7位でゴールしました。中継の解説者からも「さすがマラソンランナー、しっかりと粘ります」というコメントをいただきました。次のホクレン大会最終戦である千歳大会では5000mに出場します。



10000m

鈴木 千晴 選手

セカンドベスト!

7位 33分16秒44

今回10000mのトラックレースは3年ぶりとなりました。

しっかり自己ベストを出し、秋以降に走るロードレース、マラソンに繋げて行くことを大切に走りました。

序盤は集団でリズムを刻んで行きましたが、終盤は目標とするペース設定から離れてしまい悔しさの残るレースでした。

マラソンで更に勝負するために、トラックレースでのスピードを上げていくことは絶対要素なので今回の結果から課題に向き合い、挑み続けていきたいと思います。

最近、私の背中を押してくれた方から『まだまだこれから』と声をかけてもらいました。

『今度は私が誰かの背中を押せる走りをしたい』という想いを走りて表現したいと思っています!

次戦の千歳大会 5000m にも出場予定ですので、応援よろしくをお願いします。応援ありがとうございました。



応援ありがとうございました!